

令和6年12月期 随時モニタリング実施について

日 時 令和7年1月8日（水）13時30分～15時30分

会 場 加茂野保育園 職員室

出席者 美濃加茂市・株式会社セリオ

内 容（○：市 ●：指定管理者）

・令和6年12月期の報告

1. 本部及び統括エリア長の報告について

【本部より】

●見守りカメラ設置について

23日 ネット開通工事完了 キャノン社へ工事依頼、日程確認中。

【統括エリア長より】

- 18日に訪問した。
- 継続した遊びを大切にしたい保育へ変化している姿がたくさん見られた。
- クリスマス前と言うことでクリスマス制作をしているクラスがあり、やりたい子どもから順に制作に取り組み、早く終わった子どもはやりたい遊びにすぐ取り組むという姿が見られた。
- 各クラスの遊びでは、コーナー遊びの充実がすすんでおり、おもちゃの並べ方や人形の寝かせ方で、クラス内でとても大切に扱っていることが分かった。
- 外遊びでは年中が年長のドッジボールに憧れ、自分たちでやりたいと言ってドッジボールをしており、異年齢で一緒に遊ぶ園ならではの姿だと思う。
- また、小さいクラスの子を労る姿、自然な形で異年齢の交流も見られ、遊びの中で自然に身についているんだと感じた。
- この1年で大きく変わったこととして、外遊びの後、ひよこ組、りす組は保育士間で声をかけあいながら、早く遊びを切り上げた子どもたちから順番に部屋に戻ることができるようになった。
- 職員は園長、副園長を中心に主任は特に自分のやるべきことを率先して取り組んでおり、チーム力の向上を感じた。

2. 園長及び副園長による保育の様子について

- 先月に引き続き、0、1歳児、年少クラスを中心に保育のフォローに入る。
- 年少クラスに関しては今まではもも組、ばら組と同じ人数のファミリア職員を配置していたがその日の状況に合わせて1クラスに手厚く配置するなど円滑に保育が回るように対応を行っている。
- 休職していた職員が復職。日によって気持ちに波がある様子もみられるので無理のないように今年度はリハビリ出勤を継続していく。体調を考慮して年長クラスを2人体制で配置をする。合間で事務時間を作るように提案をしている。

3. 児童の様子について

- ・大きな事故や怪我は無し（その都度、共有済み）

4. 保育の質の向上について

①人員体制の維持拡充

(職員採用、フリー保育士の配置、クラス複数担任制、保育補助スタッフ等の配置)

- 職員の自己評価完了。結果はホームページにて4月ごろに掲載する。
- 人権擁護のセルフチェックの実施。
- 引き続き、保育士、通訳、警備員、用務員の採用に努める。

②積極的な研修受講

(子ども中心の保育理念に基づく研修、遊び中心の保育の実践方法に関する研修
コミュニケーションと関わりに関する研修)

- 12/23 園内研修(テーマ:傾聴)
座学だけではなく、伝達ゲームを取り入れながら行った。傾聴がテーマの研修だったが、伝える側も大事だよねという深い話し合いができ、良い研修になった。

③チームワークを高めるための取組み

(園内研修、公開保育、交流保育)

- 園内研修の実施。常勤職員全員が園内研修委員に当たるようになっており、研修の準備をする中で学びになっていることを感じる。
- 市の公立保育園の公開保育に3日間程度参加した。他園の良かったところを職員会議で共有した。
- 加茂野保育園での公開保育実施
12/3 ゆり組 12/11 ばら組
終了後、他園の先生からご意見をいただき、勉強させていただいた。
- 交流保育→今後、実施予定

④保護者との円滑なコミュニケーション

(保育参加の促進、園庭開放の実施、園内掲示物の充実、コドモンの活用
登降園時の直接的なコミュニケーション)

- 保育参加について
12月からは未満児の保育参加開始。
積極的に参加をしてもらっている。
- コドモンを利用して年末の挨拶、年始の挨拶を年賀状として配信した。
- 現在、園だよりと献立を紙媒体での配布とコドモンでの配信と両方で行っているが今後、ペーパーレスに向けて、コドモンでの配信のみとすることを検討中。
保護者へアンケートを出し、来年度へとつなげていく。
- 園庭開放の実施について
12/17に実施(インフルエンザが流行っており参加者なし)
次回は1/27実施予定(4名参加予定)
- 園内掲示物の充実
市の文書箱からのポスターなどを随時、掲示している。
クラスの壁面を廃止し、給食室前の大きな壁に学年ごとの製作物の掲示を行う。

入園前に保育目標等を保護者に説明しているが、なかなか記憶に残らないというご意見が第三者評価アンケートであったため、玄関に大きく掲示をするようにした。

⑤その他

(登降園時の見守り活動、地域との連携など)

●地域との連携について

小学校との連携として3月までに年長と1年生と交流する予定で打合せを行う。
学校運営委員会(年4回程度開催)への参加。
民生委員の方がサンタさんになってクリスマス会に参加(12/25)、園児にポップコーン、職員に焼き芋のプレゼントを頂く。

5. 保育サービスの充実について

①希望保育特別活動の実施

●英会話レッスンの実施。(月に2回)

2歳児クラス5名と児童館利用の子どもたち2名とで一緒に英会話レッスンを実施。
音楽に合わせて一緒に歌を歌ったり、体を動かして楽しんだりした。
今後も続けていきたい。

②トヨタカレンダーに基づく休日保育の実施

●実施を検討していく上で需要があるかなど把握する為に保護者へアンケートをとる予定。令和7年度に1日でも2日でも実施できればと考えている。

③医療的ケア児保育の実施

●12/6 セリオ系列園の医療的ケア児の入所案内資料および体験保育スケジュールを市へ提出。

人員配置体制および人件費は検討中。

○児童の病気の様子にもよると思うが、通常は園児と触れ合いながら、基本は医療的ケア児用の個室で過ごすというイメージか。

●お子様のクラス年齢や、病状によるが、基本的に参加できる活動には一緒に参加し、参加できない活動は保育士と一緒に別の部屋で離れて活動する形となる。加茂野保育園は廊下が広いのでそういった環境も生かして、お子様が自分らしく遊べる環境を保育士と一緒に作りながら保育をしていくことになるかと思う。

●事務所内に医療的ケア児の保育室を確保する為にパーテーションの見積りを依頼中。

○パーテーションではなくカーテンレールを天井につけて必要な時にカーテンを出して目隠しをするという方法も有り得るかと思う。

○パーテーションで区切った時に、窓からの光が遮られ採光に支障が出る可能性があるのではないか。

●パーテーションは天井まで塞ぐのではなく、隙間を空けて設置した場合の見積もりを依頼しており、それであれば採光に支障はないと考えている。

○保健室は現在体調不良児が使用しているが、医療的ケア児のケアと体調不良児の手当の頻度を勘案し、保健室を医療的ケア児のスペースとする考え方もあるかと思う。医療的ケア児の保護者も医療的ケアを行う場所が、パーテーションで区切られた場所なのか保健室のような専用室なのかで印象が違うと思う。パーテーションの状況も見させていただきながらより良い方法を話し合いさせていただきたいと思う。

●現在は2人熱が出た時、1人は保健室、1人は職員室で過ごすことになる。おっしゃっていただいた職員室に抗菌カーテンでスペースを作り、体調不良児をそこで見

て、医療的ケア児を保健室で見てという形も一案としてありかと思う。

- 医療的ケア児の受入について、近隣自治体に見学に行き、現場の声を聞かせていただき、情報が増えた。また庁内での組織体制について12月頭にお話ししていた形とは違う方向で全庁的に協議が進んでいる。色々なことが決まればまた共有させていただく。

④その他（児童館利用者への園庭開放、おむつのサブスクリプション）

- 来年度よりコットを導入予定。（0、1歳児）
お昼寝の布団をなくすことで荷物が減り、保護者の負担軽減につながればと考えている。

○こども未来課保育士から

【訪問日：12月25日（水）】 10：00～14：30

【園の様子】

■クリスマス会開催（午前中）

○キャンドルサービス（年中・年長組参加）

- ・インフルエンザが流行し、欠席の子が多かった
- ・キャンドルサービスの再開で、こどもたちはクリスマスに特別な経験ができた
- ・体調が悪くなった園児への対応がしっかり行われていた
（園児への対応、消毒、換気、保護者への連絡）

○クリスマス会（全園児参加）

- ・会場の飾りつけや音楽の演出など、こどもたちが楽しめる環境づくり
- ・先生たちによるお楽しみ（ハンドベル）やサンタの登場等、こどもたちがクリスマス会に喜んで参加している姿がみられた
- ・民生委員の方がサンタ役で参加
地域の方とのつながりができるこういった交流を大切にできると良い

※課題

- ・こどもの興味、集中が途切れないようにする工夫
- ・会の進行の仕方
（例えば…2部制にする、こどもたちの座る場所、プレゼントの渡し方を考える等）
- ・片付けのタイミング
- ・保育士同士の連携

■園内衛生研修

○熱性けいれんの予防について知ろう

- ・15分ほどの研修だったが、熱性けいれんについての知識が身につく
- ・熱性けいれんが起こるかもしれない園児の把握、対処方法が共通理解できる

■昼礼

○給食・保育・こどもの様子・ヒヤリハット

- ・各学年で気づきや感じたこと等、情報共有できる会議となっている
- ・課題を職員会等でしっかり振り返り話し合うことが大切

例えば…クリスマス会の時に友だちの上に乗る子がいて危なかった（ヒヤリハット）

- ・どうしてこういった事が起こったのか？
- ・保育士はどうするとよかったのか？
考え・振り返ることで ⇒ 次の保育につながる

- ・次回こども未来課保育士訪問日 令和7年1月23日（木）
- ・次回随時モニタリング 令和7年2月13日（木） 13時30分から